NURSE ANGIE

非接触式体温計ミニ
NIR-02

医療機器認証番号:227AFBZX00039000

取扱説明書

このたびは当社の非接触式体温計ミニをお求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

〈保証書欄〉

保　証　書

株式会社 カスタム

タ社株 スカ式 印ス会

保　証　規　定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

1.保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じました場合は無償で修理いたします。
2.本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3.下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
　a　不適当な取扱い、使用による故障
　b　設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
　c　当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
　d　その他当社の責任とみなされない故障

型番	NIR-02		シリアルNo.	
保証期間		年　月		日より1ヵ年
お客様	お名前			様
	ご住所			
	電話番号			
販売店	住所・店名			

販売店様へ　　お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

株式会社 カスタム
〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
TEL:03(3255)1117 FAX:03(3255)1137
http://www.kk-custom.co.jp/

150601

安全にご使用いただくために

本器をご使用になる前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

⚠警告

・指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わない。
　過度の衝撃や振動を与えない。
　本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
　これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
・電子レンジなどのマイクロ波加熱炉の温度測定は絶対に行わない。
　本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
・故障が疑われる場合は使用しない。
　使用前に亀裂、破損等の異常がないかを充分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
・本器の分解、改造は行わない。
　修理が必要な場合は、購入された販売店にお問い合わせください。
　これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
・本器を加熱したり火中に投入しない。
　破裂による火災、怪我の恐れがあります。
・危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しない。
　重大事故を引き起こす恐れがあります。
・本器を濡れた手で扱ったり、水で濡らさない。
　感電のおそれがあります。
・本器や本器に使用する電池は乳幼児の手の届く所に置かない。
　万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
・電池の液が目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。
・電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
・電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしない。
・電池のプラス、マイナスを逆にして使用しない。
・付属の電池を充電しない。
　充電すると液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
・電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管をしない。
・新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
・使い切った電池はすぐ本器から取り出す。
・本器が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換をしない。また濡れた手で電池交換をしない。
　感電の危険があります。
・指定されている電池以外は使用しない。
・電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行う。
・電池交換後は必ず電池カバーを閉じてから使う。
・長期間使用しない場合には、本器から電池を取り出す。

⚠注意

・高温や低温のところ、直射日光の当たるところ、湿気やホコリの多いところでの使用や保管はしない。
　本器は精密な電子部品でつくられています。
・周囲に雑音を発生させる装置のある場所や静電気の溜まっている物体の近くでは使用しない。
　表示が不安定になったり、誤差の原因となります。
・外部の強力なノイズ等により測定ができなくなった場合や、表示に異常が発生した場合は本器の電源を切る。
　しばらくしてから電源を入れなおしてください。
・本器のレンズを太陽や強い光源に向けない。
　センサーが破損する可能性があります。
・レンズに傷があるときは使用しない。
　レンズに傷がある状態では正しい測定結果を得られません。
・測定する物体にレンズを接触させない。
　傷がついたり、汚れや異物が付着すると、誤作動の原因になります。
・電池残量不足表示が現れたら、すぐに電池を交換する。
　正確な温度測定ができません。

1.概要

・本器は、おでこ(額部)から放射されている赤外線を非接触にて測定し、舌下部分の温度を推定する皮膚赤外線体温計です。
　測定は1～3秒で完了し、すばやく温度を表示する特長を備えています。
・物体の表面温度や室内温度を測定する機能も備わっています。

備考
舌下温度の換算値ではなく、おでこ(額部)の表面温度を測定/確認したい場合は、[6-3.　物体表面温度の測定および表示]の手順でおおよその温度を確認することができます。
ただし、その際は測定確度を考慮してください。

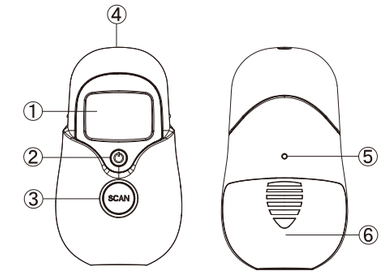
・一般的に舌下温度は腋下(わきのした)温度よりも高い傾向があります。
・予め本器で測定した平常時の体温を知ったうえで、検温を行ってください。

2.仕様

項　目	仕　様
体温測定範囲(測定部位:額)	+34.0～+42.2℃
体温測定確度	±0.3℃
物体表面温度測定範囲	−22.0～+80.0℃
物体表面温度測定確度	±4% または±2.0℃のどちらか大きい値
室内温度測定範囲	+10.0～+40.0℃
室内温度測定確度	±2.0℃
最小表示単位	0.1℃
体温測定結果保存数	最新25件
電子音	起動時、測定中、測定完了時
表示部	LCD
使用環境温湿度	+10.0～+40.0℃、15～85%RH (但し、結露のないこと)
保管環境温湿度	−20.0～+50.0℃、85%RH以下 (但し、結露のないこと)
電源	リチウム電池(3.0V)×1個(CR2032)
電池寿命	約3,000回　※1
パワーセーブ機能	約1分間無操作状態で自動的にパワーセーブモード(室温表示)
電撃保護の形式と程度	内部電源機器、BF形装着部
寸法	約(W)46.4×(H)80.1×(D)37.7mm ※2
重量	約47g(電池含む/センサー部保護カバー除く)
付属品	取扱説明書、添付文書、 センサー部保護カバー

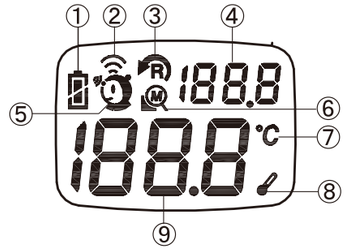
※1 本器に装着されている電池は動作確認用です。
　　初めてご使用いただく際には必ず新しい電池と交換してください。
※2 センサー部保護カバー未装着時

3.各部の名称



No.	各部の名称	機　能
①	表示部	温度や本器の状態を表示する。 電源を入れた状態で[SCAN]ボタンを押したとき測定した温度を表示し、体温は本器に保存する。
②	[電源/メモリ]ボタン	短く押すと電源が入り"体温測定モード"になる。 "体温測定モード"状態で、約5秒押し続けると電源が切れる。
		"体温測定モード"状態で、短く押したとき保存された体温を表示部に表示する。
		"体温測定モード"状態で[電源/メモリ]ボタンを押しながら[SCAN]ボタンを1回押したとき"物体表面温度測定モード"になる。
		"物体表面温度測定モード"状態で[電源/メモリ]ボタンを押しながら[SCAN]ボタンを1回押したとき"体温測定モード"になる
③	[SCAN]ボタン	体温又は物体表面温度を非接触にて測定する。 測定は1～3秒で完了する。
④	測定センサー部	放射赤外線を感知する部位。
⑤	電池カバーロック穴	この部位に硬く細長い物体を差して押したとき本体に固定されている電池カバーのロックがはずれる。
⑥	電池カバー	電池収納部位の保護

4.表示部



No.	名称	内容
①	電池残量	電池残量を表示。電池の交換が必要な時は点滅
②	物体表面温度測定モード	物体表面温度の測定が可能である時に点灯
③	直前の体温表示モード	直前に測定した体温を表示する時に点灯
④	直前の体温	直前に測定した体温を表示
⑤	体温測定モード	体温の測定が可能である時に点灯
⑥	メモリモード	保存された体温を表示する時に点灯
⑦	測定単位	温度の単位(摂氏)
⑧	室内温度測定モード	室内温度測定時に点灯
⑨	温度/保存番号	測定温度及び体温が保存されている番号を表示

〈裏面に続く〉

5.準備

開梱したらすぐにキズや変色など外観上の異常や付属品に欠品がないことを確認してください。
万一、不具合がありましたら購入された販売店までご連絡ください。

5-1. センサー部保護カバーの取り外し

(1) 指で前後につまみながら上に引っ張って取り外してください。(図1参照)
ロック機構のため左右をつまむと外れません。(図2参照)

図1

図2

5-2. 電池用フィルムの除去

ご購入時、電池は本器に装着されていますがすぐに使用できません。
下記の手順でフィルムを除去してからご使用ください。
(1)クリップなど硬く細長いピンを電池カバーロック穴([3.各部の名称]項参照)に差し込みながら押して、電池カバーを指で押しながら横(矢印)方向にずらして電池カバーを取り外します。(図3参照)
(2) フィルムを矢印の方向に引っ張り、取り外してください。(図4参照)
(3) 電池カバーを元に戻します。

図3

図4

5-3. 電池の交換

電池はリチウム電池(CR2032)1個を使用します。
表示部の電池残量を示す“ アイコン”が点滅したらすぐに電池を交換してください。
(1)クリップなど硬く細長いピンを電池カバーロック穴([3.各部の名称]項参照)に差し込みながら押して、電池カバーを指で押しながら横(矢印)方向にずらして電池カバーを取り外します。(図3参照)
(2)古い電池が装着されている場合は、本器を固定しクリップなど硬く細長いピンで電池を外します。(図5参照)
(3)金属フックに新しい電池を掛けて“カチッ”と音がするまで押します。(図6参照)
(4)電池カバーを元に戻します。

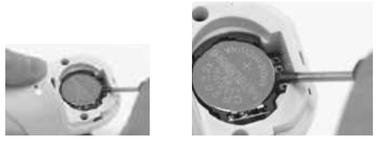


図5

図6

備考
・製品に装着されている電池は出荷時動作確認用です。測定時には新しい電池をお使いください。
・交換の際、極性にご注意ください。(プラス(+)側が上)

5-4. 電源オフ

電源オフする場合は“体温測定モード”または、“物体表面温度測定モード”で[電源/メモリ]ボタンを約5秒押し続けてください。

6.測定

6-1. 測定の前に

測定時に守ること
・体温を確認するための製品であるので、医師による診断に代わるものではないことに注意する。
・本器が周囲の温度になじんでいないと測定誤差が大きくなるため、測定時は早めに測定する場所に本器を移動して周囲の温度になじませる。
使用可能の目安として、“室内温度測定モード”にて表示される値と測定場所の温度の差が小さいことを確認してください。
・測定前に長時間本体を持たない。
本体が温まり正しく測定できません。
・“体温測定モード”では、おでこ(額部)以外の体の部位に対して使わない。
・興奮状態や額部に汗をかいているとき、肌が紅潮しているとき、脈拍が早いとき、血管収縮薬の摂取時、皮膚のかぶれがあるとき、虚脱時などに測定をすると、わずかな温度変化として現れる場合があることに留意する。
正しく測定できないことがあります。
・おでこ(額部)の体温が奪われるような通気の良い場所では測定しない。
正しく測定できないことがあります。
・以下の状態にあった場合は額部の温度が安定するまで待ってから測定する。
・直前まで運動をしていた場合。
・直前まで測定場所と著しく異なる気温下にいた場合。
・直前まで冷湿布などを額部に当てていた場合。
・直前まで帽子などを着用していた場合。
・直前に入浴やシャワー、サウナやヘアドライヤーを使用していた場合。
・測定部位の汗や化粧品はふき取ってから測定する。
・測定部位に接触して測定しない。
正しく測定できません。
・測定部位に対して測定センサーを1～3cmの距離で垂直に向ける。
ずれると正しく測定できません。
・耳・額・わきの下などの平熱をあらかじめ検温しておく。
個人差により、額と脇の下の体温が約1℃異なることがあります。
・暖房機の近くなど、温風が直接あたるところで測定しない。
・怪我を防ぐため子供だけで使わせない。

測定温度について
本器はおでこ(額部)の温度を測定し、実際の体温により近い舌下温度に換算して表示します。

測定部位	測定値(参考)
おでこ(額部)	+34.5℃～+40.5℃
舌下	+36.0℃～+42.0℃

備考
舌下温度の換算値ではなく、おでこ(額部)の表面温度を測定/確認したい場合は、[6-3. 物体表面温度の測定および表示]の手順でおおよその温度を確認することができます。ただし、その際は測定確度を考慮してください。

6-2. 体温測定(体温測定モード)

(1)[電源/メモリ]ボタン を短く1回押します。
(電源オンした直後は“体温測定モード”になっています。)
本体が自己検査を行って問題がなければ短い電子音が2回鳴り、“ アイコン”が表示されます。
(2)おでこ(額部)から1～3cm離れた場所に測定センサーが位置するように保持します。(図7参照)

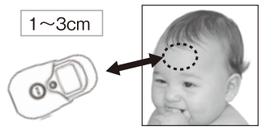


図7

(3)[SCAN]ボタン を押します。
測定が完了すると電子音が“ピーッ”と鳴り、表示部に測定温度が表示されます。電子音が2回鳴って“ アイコン”が点灯すると、次の測定が可能となります。
この時、直前の測定値が表示部右上に“ アイコン”とともに表示されます。
(4)測定結果が37.5℃を超えた場合は測定完了後に短いアラーム音が3回鳴ります。
備考
アラーム音は測定結果が37.5℃を超えた場合に鳴るように設定されています。
人によって発熱と判断される温度は異なるので、アラーム音だけで発熱の有無を判断しないでください。
健康上の不安がある場合は医師にご相談ください。

測定値の自動保存機能および表示

体温測定値は最新25件が自動保存されます。
最も新しい測定値がメモリ番号1に保存され、最も古い測定値がメモリ番号25に保存されます。
保存された測定値は以下の手順で呼び出すことができます。
(1)[電源/メモリ]ボタン を押すと(2秒以下)“ アイコン”と共にメモリ番号1に続き最後に自動保存された測定値が表示されます。
(2)さらに[電源/メモリ]ボタン を押す毎にメモリ番号が1⇒2と変化し、測定値が順番に表示されます。メモリ番号は25まで進むと1に戻ります。
備考
・測定結果が「Hi」または「Lo」の場合は自動保存されません。
・測定に戻る時は[SCAN]ボタン を押すと“体温測定モード”に戻ります。

6-3. 物体表面温度の測定および表示(物体表面温度測定モード)

物体の表面温度を測定して表示する機能です。

(1)電源オンの状態で[電源/メモリ]ボタン を押しながら[SCAN]ボタン を1回押すと“物体表面温度測定モード”となり、“ アイコン”が表示されます。
(2)測定対象から1～3cm離して[SCAN]ボタン を押します。
[SCAN]ボタン を押す毎に測定対象の表面温度を表示します。
(3)[SCAN]ボタン を押し続けると、測定値がリアルタイムに変化します。
備考
・このモードは体温測定と異なり実際に測定した温度を表示しています。
・“物体表面温度測定モード”で測定された温度は、測定対象の表面温度です。
<例> 哺乳瓶に入ったミルクの温度を測りたい:
→哺乳瓶に向けて測定をしても哺乳瓶表面の温度が表示され、中のミルクの温度とは異なります。
・測定結果はあくまでも目安としてお考えください。
・物体表面温度の測定値は自動保存されません。
・“物体表面温度測定モード”で[電源/メモリ]ボタン を押しながら[SCAN]ボタン を1回押すと“体温測定モード”に戻ります。

6-4. 室内温度の測定および表示(室内温度測定モード)

室内の気温を測定して表示する機能です。

(1)電源が入った状態で約1分間無操作状態が続くと自動的に電源がオフとなった後に“ アイコン”と共に室内温度が表示されます。
(2)測定に戻る時は、再度[電源/メモリ]ボタン を短く1回押すと“体温測定モード”に戻ります。

備考
・室内温度の測定値は自動保存されません。
・室内温度は約1分毎に更新、表示されます。

7.保管・お手入れについて

・保管方法
・温度:−20.0℃～+50.0℃
・湿度:85%RH以下(但し、結露のないこと)
・保管方法:日光下や強い電磁波の生じる場所、ほこりの多い場所では保管しない。
・保管するときにはセンサー部保護カバーを取り付けて保管する。

・測定センサー部の清掃
・濃度70%のアルコールで湿らせた清潔な布か綿棒を使って軽く拭く。

・本体の清掃
・低刺激の石鹸水を浸した柔らかい布をよく絞り、拭く。
・煮沸消毒したり、ベンジン・シンナー等の溶剤で洗浄したりしない。
・本体内部に液体が入らないように注意する。
・本体が完全に乾くまでは使用しない。

8.トラブルシューティング

表示	表示の意味と解決方法
Er 1	測定準備中。 → “ アイコン”が点灯するまで待つ。
Er3	室内温度が+10℃未満か+40℃以上ある。 → +10℃～+40℃の室内温度で使用する。
Er 5～9	予期せぬエラーが発生した。 → 電池を抜き約1分放置後、再度挿入する。 上記を試してもエラーが繰り返し表示される場合は、販売店に連絡する。
Hi	“体温測定モード”にて測定温度が+42.2℃より高いか、“物体表面温度測定モード”にて測定温度が+80℃より高い。 → 指定の温度範囲で温度測定を行う。 繰り返しエラーが表示される場合は販売店に連絡する。
Lo	“体温測定モード”にて測定温度が+34℃より低いか、“物体表面温度測定モード”にて測定温度が−22℃より低い。 → 指定の温度範囲で温度測定を行う。 繰り返しエラーが表示される場合は販売店に連絡する。
188.8 188.8	自己検査に失敗した。 → 電池を抜き約1分放置後、再度挿入する。それでもエラーを表示する場合は新しい電池に交換する。交換しても繰り返しエラーが表示される場合は販売店に連絡する。
	電池残量が少なくなった。 →電池を新しいものに交換する。